

アナバプテストのクリスチャンとは何か? ④

中心的価値 1

1. 日常生活の中でイエスに従う

- 1) アナバプテストのクリスチャンにとって信じるということは教会の信条を承認したり、信仰によって義とされること以上のことを意味する。
- 2) 不幸にも多くのクリスチャンは救われた後でさえもまだルターのように自分たちがこうした変えられた生活を送ることができない希望のない罪人であると考えています。
- 3) アナバプテストのクリスチャンにとっては救いとは古い生き方から離れてイエスと共に歩みだすことを意味します。神との関係性、お互いの関係性、さらには敵との関係性においてさえも今までとは異なった生き方しようとするのです。
- 4) 聖餐においてもアナバプテストの考え方を共有するクリスチャンはイエスが自分たちの身代りとなって死んで下さったということだけではなく、今その主イエスご自身が自分たちの模範となってここに生きているということを重要視します。

2. 聖書はキリスト中心に解釈される。

- 1) 今日の多くのクリスチャンは聖書を「平準化」して理解している。
- 2) 初期アナバプテストから学ぶことは、聖書はキリスト中心に理解され、解釈される必要があるということです。
- 3) このことはイエスの教えが旧約の教えをしのぐことが時にはあることを意味する。
「これはあなた方が聞いてきたことである。しかし私は言う〜」(マタイ5:22)
- 4) 書かれた言葉(旧約・新約)とイエスの霊はいわば創造的な緊張関係を保たなければならない。
- 5) たしかに聖書は知識の究極の源泉ですが、イエスは神の完全な啓示であり、日々の生活の究極の権威である。
- 6) この理解から根本的な導きと倫理を律法からではなくイエスに求める。私たちが倫理的な問題に直面したとき、まず指標としてイエスのみ言葉と霊にあたることが必要。